

集落の農地を守りつつ、水田オーナー制度など新たな取組みにも挑戦 ～農事組合法人 わごう（岐阜県大垣市）～

経営体の概要

事業実施前：平成22年	➔	現 在：平成30年
基幹作物：水稻、小麦、 蜜源れんげ		基幹作物：水稻（主食用米、飼料用米）、小麦、蜜源れんげ、 キャベツ、ブロッコリー、スイートコーン
経営面積：92.6ha		経営面積：101.8ha

取組の経緯と経営転換のポイント等

機械化営農組合として、地域で水稻中心の営農を行ってきたが、平成24年に法人化し、経営安定を実現している。特別栽培米、加工・業務用キャベツ、ブロッコリー等の作付けに加え、水田オーナー制度の導入、直売所の開設など新たな取り組みを実践し、国営事業により用水の安定供給が行われている本地域の農地の維持・保全とともに地域の農業の維持・発展に貢献している。

営農改善のポイント

①栽培技術の確立・向上

水稻の収穫後にれんげを作付け、翌年度の水稻作の田植え前にすき込むことで、化学合成肥料を減らすとともに、節減対象農薬使用量を抑える特別栽培米を生産している。

②流通・販売の工夫

年に60組のオーナーを募集する水田オーナー制度を導入し、特別栽培米を配送している。また、ふるさと納税の返礼品として、特別栽培米、こめ油を出品している。

事務所に直売所・加工所を併設し、特別栽培米や野菜、苗のほか、収穫物の加工品（ご飯物や惣菜等）の販売を行っている。また、地元農家が栽培した野菜の販売も行っている。

③地域へ及ぼす影響

営農日記やお米の成長をホームページに掲載し、水田オーナーへ知らせるなど、農業に関する情報を都市住民に発信し、都市農村交流に貢献している。

直売所に設けた喫茶スペースは、地域住民の憩いの場となっている。また、地域の老人会等の際には弁当の注文に応じている。



わごうの皆さま



特別栽培米



直売所

事業概要

事業種：国営かんがい排水事業
 関係市町：大垣市、養老町、垂井町、神戸町、
 揖斐川町、大野町、池田町
 受益面積：5,342ha
 事業期間：平成21年～平成26年
 事業目的：用水改良
 主要工事：頭首工改修1箇所、用水路改修L=4.0km、
 水管理施設改修

位置図（岐阜県）



<問い合わせ先>

東海農政局
 農村振興部農地整備課
 課長補佐（競争力強化事業推進）
 電話：052-223-4638

（平成30年度調査時点）